

# 平成27年度 指定管理者評価シート

所 管 課	健康福祉部 長寿・保険室 長寿・介護保険課
評価対象期間	平成27年4月1日 ~ 平成28年3月31日

## 平成27年度 指定管理者評価シート<1> 指定概要 (指定管理者によりご記入をお願いします。)

施設概要	名 称	川西市一の鳥居老人福祉センター
	所 在 地	兵庫県川西市長尾町6番17号
	設置目的	老人の健康の増進、教養の向上等を図るため、川西市老人福祉センターを設置する。
利 用 料 金 制	<input checked="" type="radio"/> 非利用料金制         ・ <input type="radio"/> 一部利用料金制         ・ <input type="radio"/> 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定管理業務の内容	<p>※ 指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1)老人の生活相談に関すること。          (2)老人の健康相談に関すること          (3)老人の教養の向上のための講習会、講演会等の開催に関すること。          (4)老人のレクリエーションのための便宜供与及び老人クラブ活動の推進に関すること。          (5)老人の機能回復訓練に関すること。          (6)施設の使用の許可、その取消し、その他センターの使用に関すること。          (7)施設及び付属設備の維持管理に関すること。          (8)開館時間及び休館日の変更に関すること。          (9)そのほか、市長が必要と認める業務に関すること。</p>	
指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日	

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改
	善	善

施設名	川西市一の鳥居老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 長寿・保険室 長寿・介護保険課	評価区分	A
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】		
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成		
①法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	設置目的である老人の健康増進を図るため健康体操を実施し、教養の向上を図るための講座を開催し、また囲碁・将棋・大正琴・カラオケ等の趣味のグループの活動を支援しました。健康相談は、講座(勉強会)開催時に医師・保健師等の講演後、参加者からの相談を受けています。	A	健康体操、趣味のグループの活動支援が行われ、設置目的に沿った運営が行われています。また、利用者も昨年並みの水準を維持しています。		意見なし	
②利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	身分を証明する書類(運転免許証、健康保険証等)を提示していただき、職員が施設利用の説明をして、登録手続を行っています。	A	登録時には身分確認、職員から利用方法についての説明をし、適正に手続を行っています。		意見なし	
③施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	センター主催の講座や文化祭等の開催時に、施設内の掲示板や市広報に掲載しているとともに、近隣の老人会・自治会にチラシを送付し、PRを行い利用者の増加を図りました。	A	施設内の掲示、市広報への掲載に留まらず、近隣にチラシを配布するなど積極的に広報活動を行っています。		意見なし	
<課題>		空調設備の老朽化から冬期に暖房が故障し、利用者にご不便をかけました。		施設の老朽化が激しく、耐震化工事も含め、大規模改修の検討が必要です。		施設の老朽化について、単年度で無理なら数年かけて対応が必要です。	
<改善内容>		漏水による暖房機器の故障であったため、漏水箇所を特定し、修理することにより、暖房の使用を再開することができました。		工事や修繕について市と協議を行い、計画的に進めていって下さい。		特にありません。	
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況		
①施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	個人利用者については、健康器具や入浴サービスを利用することで健康増進につながっています。趣味のグループについては、活動を通じて、交流や親睦を図るなど施設の目的に則って有効に活用されています。	A	年間21,390人が利用され、施設の目的に沿った活動が行われており、有効に利用されています。		意見なし	
②施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	趣味のグループへの支援として、囲碁講座を17回(延べ220人)実施しました。講座終了後、受講者が囲碁グループに入会され、囲碁グループの会員の増加を図ることができました。	A	個人利用者の減少を受けて、グループ利用を増やすべく独自の講座を行っています。グループの人員も増加しており、評価出来ます。		意見なし	
<課題>		入浴サービスを実施していますが、設備の老朽化により、機器の故障があり、風呂が利用できなくなり、利用者にご不便をかけることがあります。		施設の老朽化が激しく、耐震化工事も含め、大規模改修の検討が必要です。		意見なし	
<改善内容>		設備が老朽化していますので、軽微なものは職員が修理し、職員ができないものについては、業者に依頼し、利用者にご不便をかけないように絶えず点検しながら利用していきます。		工事や修繕について市と協議を行い、計画的に進めていって下さい。		意見なし	
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度		
①利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	定期講座の開催時にアンケート調査を5回実施しました。(5月15日、6月19日、8月21日、9月18日、12月18日)	A	年に5回アンケートを実施しており、評価出来ます。		意見なし	
②利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	各種講座については、継続して実施してほしいとの評価を得ています。今後、講座内容について、より利用者の希望に添えるよう検討を重ね、利用者が満足されるような事業に取り組めます。	A	利用者の意見も反映させて、講座を開催しています。アンケートから講座についての満足度の高さが窺えます。引き続き、より利用者のニーズに合った講座が開催できるよう努めてください。		意見なし	
③利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	苦情があれば、内容を確認し、修理等の可能なことなどは、その都度迅速に対応しています。また、苦情申出者が判明している場合は、本人が納得されるまで丁寧に説明するなど対応しています。	A	苦情があればその都度丁寧に説明されるなど、適切な対応を行っています。		意見なし	
④アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	意見箱を設けており、投函があれば、投書の内容を把握し、事業に反映するようにしています。27年度については、投函がありませんでした。	A	意見箱も設けられており、また、日常の中で職員に直接苦情が言える体制が整えられています。軽微な修繕などに対しては即座に対応しており、適切に処理しています。		意見なし	
⑤サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	センター主催の講座では、医師による「循環器の病気について」、栄養士による「筋肉をつくる食材」について等の講演を実施しました。受講された方には、健康で暮らすための方法を理解し、健康づくりに役だつなどの効果が期待されます。	A	高齢者の関心が高いテーマを調査し、利用者の意見も参考に、常に新しいテーマの講座を開催しています。利用者から高い評価を得ており、健康への理解を深めて頂いています。		意見なし	
<課題>		本館には、トイレが男・女共用になっていること、2階にあがるには階段しかないため利用者にご不便をかけています。		施設の老朽化が激しく、耐震化工事も含め、大規模改修の検討が必要です。		意見なし	
<改善内容>		男・女別のトイレ及びエレベーターの設置をするには、大規模改修が必要となります。		工事や修繕について市と協議を行い、計画的に進めていって下さい。		意見なし	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市一の鳥居老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 長寿・保険室 長寿・介護保険課	区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)								
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A			A			2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】						
(2-1) 経費の節減	A			A			(2-1) 経費の節減						
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	空調機(電気・ガス)の使用時は、温度設定(夏28℃・冬20℃)を守っていただくよう依頼しています。 また施設内についても利用者に迷惑のかからない程度に消灯して節電に努めています。		A	経費節減について、サービスの質の低下にならない程度に、利用者の協力も得て積極的に取り組んでいます。		意見なし						
② 管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	特殊な機器(風呂・空調機等)の委託については、随意契約を行っていますが、設備関係などは、見積合わせを行い経費を節約しています。 また、消耗品費については、より安い業者を探して購入し節約に努めています。		A	可能な限り見積もり合わせを行うなど、経費節減のため、適切に運営していますが、見積もり合わせを行っていない業務の中でも、できるものはないか再度検討し、より安価な契約となるよう、努めてください。		意見なし						
< 課 題 >					特になし		意見なし						
< 改善内容 >					特になし		特にありません。						
(2-2) 収入の増加	評価なし			評価なし			(2-2) 収入の増加						
① 収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。							意見なし						
② 収入の増加など取り組みの効果は得られたか。							意見なし						
< 課 題 >							意見なし						
< 改善内容 >							意見なし						
(2-3) 収支のバランスなど	評価なし			評価なし			(2-3) 収支のバランスなど						
① 収支のバランスは、適切であったか。							意見なし						
② 費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。							意見なし						
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。							意見なし						
< 課 題 >							意見なし						
< 改善内容 >							意見なし						

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市一の鳥居老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 長寿・保険室 長寿・介護保険課	区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)								
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A			A			3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】						
(3-1) 管理運営の実施状況	A			A			(3-1) 管理運営の実施状況						
①法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	法令や市等の指導に基づき、人員の配置は臨時職員3人で行っています。		A	人員配置は適正です。		意見なし						
②法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	法令や市等の指導に基づき、施設に必要な研修(AED)は、職員3名すべて受講しました。また、他の2施設と趣味のグループへの書式の統一などについて、協議を行い、反映できるものは、反映しました。		B	業務に直結する現実的な研修を実施され、書式統一など業務改善につながっている点は評価できます。外部団体の研修にも積極的に参加するよう努めてください。		意見なし						
③経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	機器の更新、修繕については、相見積もりをとり安い業者を選ぶなど、予算の範囲内で適切に行っています。		A	利用者に不便にならない程度に消灯などを実施されており、契約は相見積もりを行うなど、適切な運営を心がけています。		意見なし						
④施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	新たな取組みとして、東谷中学校の将棋クラブの顧問の先生より提案があり、夏休みに、趣味のグループの将棋と東谷中学校の将棋クラブとの世代間交流を実施しました。		B	昨年、課題として挙げられていた新たな取組みの実施について、世代間交流を実施されました。今後、将棋以外の趣味のグループでも新たな取組みを行えるよう、さらなる発展を期待します。		意見なし						
< 課 題 >					特にありませんが、引き続き、より良い施設運営を目指し新たな取組みを企画してください。また、外部研修も参加できるものがあれば積極的に参加して下さい。		意見なし						
< 改善内容 >					特になし		意見なし						
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A			A			(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など						
①法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	初回の利用者には、運転免許証などの身分証明書などから、利用条件の市民かどうかの確認を行っています。		A	初回利用時には身分証を確認する等、厳格に手続きを行っています。事業や手続きが適正に行われているか、職員同士でチェックする体制もあり、評価できます。		意見なし						
②施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報については、鍵のついたキャビネットにて保管しており、緊急時以外は、事務室において管理しています。		A	個人情報は鍵付きの保管庫に入れられており、適切に取り扱われています。		意見なし						
③日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	1人で風呂に入る方には、職員が絶えず見守りをしています。複数の時は何かあれば利用者から連絡を受けようとしています。なお、浴場及びトイレには、緊急ベルを設置しています。		A	入浴利用者への見守りが行われ、事故防止に積極的に取り組んでいます。		意見なし						
④防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	平日の勤務時間外・夜間等の防犯は、警備会社に委託しています。防災は、火災時の防火訓練を年2回行い安全対策に努めています。		A	避難訓練を実施し、防犯も業務委託を行っており適切な対策を講じています。		意見なし						
⑤事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	事故発生時には、人身緊急マニュアルに従って対応しています。火災時には、避難誘導計画に基づいて誘導対応します。		A	緊急事態に備えてマニュアルが作成されており、非常の際の備えが整備されています。		意見なし						
⑥利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。	A	趣味のグループには、利用更新の登録申請時に「使用に関しての要項」等を代表者に説明し理解をいただいています。個人利用者が健康器具を使用するときは、時間を決めており、順次利用していただいています。		A	平等に施設を利用できるよう、説明会を行い、適切な配慮がされています。		意見なし						
⑦利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。							意見なし						
< 課 題 >					特になし		意見なし						
< 改善内容 >					特になし		意見なし						

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市一の鳥居老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 長寿・保険室 長寿・介護保険課	
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価ランク	A		A			
・評価できる内容	<p>趣味のグループ「囲碁・将棋・カラオケ等」31の登録グループの会員532人(27年3月31日現在)に対して、部屋の利用の日程等、会員相互の交流を支援しました。 また、東谷中学校の将棋クラブと趣味のグループの将棋との間で、世代間交流を行いました。</p>		<p>利用者の高齢化に伴い、個人利用が減少する中、利用者増加のため、近隣にチラシを配布するなど積極的に広報活動を行っています。 昨年の課題となっていた、新たな取り組みへの実施について、世代間交流に取り組みました。</p>		意見なし	
・平成27年度に改善した内容	<p>センター主催の講座(勉強会)について、講座内容を利用者が知識として知っていただける内容にして実施しました。 設備面では、空調機器が故障になり、不具合の原因となった漏水箇所を特定し、修理することにより、当面空調機器を使用することができました。</p>		<p>前年度の課題であった新たな取り組みの実施と、アンケートの実施について改善されています。 講座の内容について、利用者の教養向上につながるテーマを取り上げられました。 空調機器の故障に対し即座に対応されました。</p>			
・平成27年度に改善したことによる効果	<p>センター主催の講座として、「そのお金本当に払って大丈夫?」、「認知症にならないために今からできること」の2講座について、東谷地域包括支援センターの職員が芝居仕立てでわかりやすく講演していただき、利用者にとって十分理解が広がっています。 空調機については、漏水の箇所を修理することにより、使用できましたが、老朽化しており、いつ故障するかわかりませんので、絶えず点検しながら使用してまいります。</p>		<p>施設が老朽化し様々な不具合が出る中、日々点検を行い利用者にも不便にならないよう配慮しています。 利用者の教養向上につながる講座を開催し、高い満足を得ています。</p>			
・問題があり次年度以降改善が必要な点	<p>当センターは、建設後39年を経過しており、老朽化が著しく、空調機器、浴室の天井からの漏れ、タイルの剥がれ、風呂を沸かすボイラー設備について、更新する必要があります。</p>		<p>施設の老朽化が激しく、耐震化工事も含め、大規模改修の検討が必要です。</p>		意見なし	
・改善方法とその時期	<p>施設及び設備の大規模改修をする場合は、トイレ、エレベーターを含めて改修することが望まれます。 改修の時期等については、市と協議して実施する必要があります。</p>		<p>工事や修繕について市と協議を行い、計画的に進めていって下さい。</p>			

【記入上の留意点】

- (1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。  
(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。